

### 3 基本方針と施策の柱

本計画の将来像である「市民総ぐるみで推進する スマートシティ あなん」の実現をめざして、次の5つの基本方針と施策の柱を定めました。

#### 基本方針1：全市民、全事業者が「COOL CHOICE」に笑顔で取り組むまちづくり

〔市民、事業者における省エネ行動の推進や省エネ機器などの導入拡大〕  
家庭におけるエコライフの推進、家庭用・事業用省エネルギー設備の普及促進、建築物の省エネルギー対策の促進、LED照明の積極的な導入、エネルギー使用量の管理、省エネルギー運転行動（エコドライブ・アイドリングストップ）の実践など

#### 基本方針2：再生可能エネルギーの積極的な利活用と経済成長の両立を進めるまちづくり

〔再生可能エネルギーの積極的な導入支援〕  
太陽光発電や太陽熱温水器など設備導入促進、自然エネルギー導入加速に向けた普及活動など

#### 基本方針3：循環型社会をめざすまちづくり

〔3Rの推進と廃棄物の排出抑制・資源化の推進〕  
廃棄物発生抑制、エコパーク阿南の適切な運用、食品ロス削減に向けた取組の推進など

#### 基本方針4：低炭素社会基盤整備を積極的に進めるまちづくり

〔低炭素社会基盤整備の積極的な推進〕  
次世代自動車の普及、燃費改善、道路交通流対策、CO<sub>2</sub>吸収源の確保など



#### 基本方針5：脱炭素社会の実現に向けた取組を相互に支援する仕組みづくり

〔市民、事業者への普及啓発や情報発信と先導的な取組の支援〕  
正しい情報の提供と普及啓発、省エネ、低炭素・脱炭素活動優秀実践者への表彰など

### 4 市民・事業者・市の役割

地球温暖化対策の推進は、市民・事業者・市等すべての主体が、それぞれの役割に応じて、積極的に取り組むことが必要です。ご協力よろしくお願いいたします。

#### 市民の役割

温室効果ガスの排出は、日常生活の中の行動様式に大きく左右されることを認識し、自主的に現在のライフスタイルを見直し、環境負荷の低減に資する行動を選択するように努めましょう。

#### 事業者の役割

事業内容に応じて、効果的および効率的な対策を実施するとともに、従業員への環境意識を高める取組の実施に努めましょう。また、製品・サービスのサプライチェーンおよびライフサイクルを通して、温室効果ガスの排出量の把握や削減に努めるとともに、これらの情報を提供するよう努めましょう。

#### 市の役割

本市域の自然的・社会的な特性に応じた温室効果ガスの排出抑制等のための総合的かつ計画的な対策を推進するとともに、自らの事務事業においても、率先的な取組を行うことに努めます。

☆ 本計画は市ホームページでご覧いただけます。

### 地球温暖化対策実行計画（2017年10月～2030年度）

▶ 市民総ぐるみで推進する スマートシティ あなん ◀

## 環境保全率先行動計画を策定

（区域施策編）

本市では、「阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）」を策定し、地球温暖化対策として市域の温室効果ガスの排出抑制等に向けた市民、事業者、市等の各主体による積極的な取組を推進します。ITや環境技術などの先端技術を駆使して市域全体で省エネルギー、省資源化を徹底する「環境配慮型都市スマートシティ阿南」の実現をめざして、市民、事業者、市等が一体となって、環境負荷の少ない行動を行いましょう。

問い合わせは 環境保全課（☎22-3413）へ

### 1 地球温暖化対策に向けて

地球温暖化は、私たちの日常生活や事業活動などの社会的活動によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因といわれています。このまま温室効果ガスが増え続けると、平均気温の上昇、氷河などの融解、海面水位の上昇が観測されているほか、わが国においても平均気温の上昇、暴風、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されており、早急な対策が必要です。この地球温暖化対策は、一人ひとりがその目的や必要性を理解して、取組を積み重ねることが大切です。

### 2 地球温暖化対策実行計画：阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）

#### 1) 計画の基本的事項

項目	内容
根拠法	地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項
計画期間	2017年10月から2030年度まで
目的	本市域の自然的社会的条件に応じた、温室効果ガスの排出抑制等に向けた市民、事業者、市等の各主体による取組の総合的かつ計画的な推進

#### 2) 阿南市の将来像

“光のまち”に象徴される、LEDを筆頭に産学官連携による「最先端工業のまち」としての顔を持っていることを考慮し、ITや環境技術などの先端技術を駆使して、市域全体で省エネルギー、省資源化を徹底する「環境配慮型都市スマートシティ阿南」の実現を目指します。こうした本市の特徴を踏まえ、めざすべき将来像は「市民総ぐるみで推進する スマートシティ あなん」です。

#### 3) 温室効果ガス排出量の現況と削減目標

温室効果ガス総排出量の97.2%が二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)であることからCO<sub>2</sub>の削減を目標とします。本市のCO<sub>2</sub>排出量は、基準年度の2013年度では約1,012.6千t-CO<sub>2</sub>で、2030年度は約940千t-CO<sub>2</sub>と推計され、人口減等で7.2%減少すると予測されます。削減の取組等により約200.6千t-CO<sub>2</sub>(2013年度比20%)削減する見込みです。また、森林のCO<sub>2</sub>吸収量は2013年度比6%削減となる見込みです。

【本市の削減目標】

2030年度の市域における温室効果ガス排出量を、基準年度(2013年度)比で33%（排出抑制27%削減、森林吸収量6%）を削減する。

阿南市のCO<sub>2</sub>排出量と削減量（現状と将来予測）

